

工和成年会 講習会のお知らせ

不況期を進化に活かすマネジメント
～コロナ不況を少しでも好機に変える経営を共に考える～

東京理科大学 経営学研究科 技術経営専攻
講師：岸本 太一博士

盛夏の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、大変お世話になっております。
昨年に引き続き、講習会を行っていき、講師は岸本先生です。先生は、経営学者の伊丹敬之先生の直系の教え子で、経営学と経済学の専門の先生です。

「真実は現場にあり。」「現場にこそ新たな理論の萌芽あり。」

岸本先生は、これをモットーに日本企業の研究を行っておられます。現場見学とインタビューを併用する形式で実施された訪問調査の数は、国内外合わせると実に500拠点を超えるとのこと。

岸本先生のご登壇は、昨年の講習会に続き、3度目となります。

前回は、「日本の中小企業の生き残り戦略」「中小企業の新事業開発で必要な追加的視点」とお話しいただきましたが、今回は、世界中を世界中を巻き込んだ新型コロナによる不況期をどのように凌ぎ、また活かすか（進化するか）。という視点で岸本先生がリーマンショック後の企業調査経験を元にお話し頂きます。

レクチャー後には、先生の情報やヒント、アイデアを元に受講者自身が自社に置き換えて検討、その内容を次のディスカッションの回に共有する。という新しい試みで進めます。

詳細は、別紙でお送りしたセミナー企画内容をご覧ください。

また、新型コロナの影響でセミナー開場に密集する事を避けるために、Zoomを活用したセミナー形式を取ります。会社や自宅からZoomが利用出来ない方は、工和成年会会長 寺西にて機材やソフトの相談を承りますので、お気軽にご連絡ください。

多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

▶開催概要

- 日 時 第1回(レクチャー) 8月4日(火) 19時～20時
第2回(ディスカッション) 8月24日(月) 19時～20時半
- 場 所 Zoomにて配信(参加URLは後日、ご連絡いたします)
工和会館 1階 大田区下丸子1丁目6番4号
- 講 師 東京理科大学技術経営専攻 講師 岸本太一氏
- 受 講 料 無料 ※今回は講習会後の懇親会はございません
- 申 込 締 切 令和2年7月28日(火)

お手数ですが、7月28日(火)迄にご出欠を **FAX 03(3757)7716** に。

または、teranishi@mufufu.jp までに、お願い致します。

工和会協同組合・工和成年会 講習会

参加は、第1回のみ参加、第2回のみ参加も、歓迎。

お手数ですが、7月28日(火)迄にご出欠を FAX 03(3757)7716 に。
または、teranishi@mufufu.jp までに、お願い致します。

第1回(レクチャー) 8月4日(火)19時～20時

御社名 _____

受講者名 _____ **[講演会：出欠]**

第2回(ディスカッション) 8月24日(月)19時～20時半

御社名 _____

受講者名 _____ **[講演会：出欠]**

Zoomソフト、機材等のサポートが必要であれば、工和成年会 会長 寺西までご連絡ください。
teranishi@mufufu.jp

工和会協同組合・工和成年会 講習会2020 企画案

岸本太一

テーマ 不況期を進化に活かすマネジメント
～コロナ不況を少しでも好機に変える経営を共に考える～

講習会の形式

今回は二回シリーズで行う。

第1回は、講師によるレクチャー、第2回は、受講者の事前課題を活用したディスカッション

概要

- 不況期は、中小企業にとっては、特に厳しい。
- しかし、巧く活用すれば、転換と進化の契機にもなりうる。
- 不況を乗り越えるための要諦は、どこにありそうか。
- 不況を進化に活かすためには、どのようなことを行うとよさそうか。
- 講師(岸本)は、リーマンショック直後の時期に、ものづくり中小企業を数十社訪問し調査した経験を持つ。
- そして、それらの調査の中では、不況期を進化に活かす様々な工夫を伺った。
- 無論、リーマンとコロナでは、同じ不況でも異なる点が存在する。
- しかし共通点もある。そして、上記の調査結果は、今回施策を考案する上でのヒントには、十分になりうる。
- 以上を踏まえ、今回の講習会(第1回)では、上記の調査で見られた工夫を、レクチャーの形で、分かりやすくかつ体系的に紹介する。
- ただしレクチャーで紹介した内容は、受講者の皆様にとっては、あくまで他社事例であり、ヒントに過ぎない
- 「(※)レクチャーの内容を、たたき台という位置づけで、自社に当てはめてみて、自社独自の工夫を色々と考えてみる」ことで、初めて生きてくる。
- また、各受講者の方々があれこれと考えた結果は、他の受講者の方にとっても、ヒントとなる。各受講生の思考結果を集め、それを基に、議論をすれば、更に色々とアイデア出てくるだろう。
- ゆえに、今回は、レクチャーで終わらずに、ディスカッションの回(第2回)を設けたい。
- 具体的には、レクチャー終了後に、上記(※)を実際にやって頂き、その思考結果のメモを、第2回開催の1週間前までに提出して頂く。そして、第2回では、そのメモを活用する形で、ディスカッションを行う。
- 事前課題については、第1回に改めて詳しく説明を行う。
- なお、第1回のみ参加、第2回のみ参加も、無論歓迎する。